

平成 29 年度いわき市病院事業会計決算の概要

- 1 当病院は、26 の診療科を有し、病床数 761 床により、福島県浜通り地方の高度急性期医療を担う中核病院として地域住民の健康保持に必要な医療提供の役割を果たしているところであります。
- 2 年間総延患者数は、入院が 191,000 人、外来が 224,602 人であり、前年度と比較し、入院は 3,036 人の減少、外来は 756 人の増加となりました。入院は、主に呼吸器内科、耳鼻咽喉科の患者が減少し、外来は、主に眼科、整形外科の患者が増加しました。
- 3 収益的収支は、収入が前年度に比べ 4.4%増の 210 億 8,852 万 346 円、支出が前年度に比べ 3.0%増の 196 億 6,491 万 9,722 円となり、14 億 2,360 万 624 円の当年度純利益を計上することとなりました。
 - (1) 主な収益的収入としては、医業収益が心臓血管外科、消化器内科の収益増により、前年度に比べ 4.7%増の 180 億 3,003 万 5,144 円となりました。なお、患者一人一日当たりの収入は、入院が 75,089 円、外来が 14,852 円であり、前年度と比較し、入院は 4,967 円、外来は 303 円の増加となりました。
 - (2) 主な収益的支出としては、医業費用が退職給与費の減に伴い給与費が減となったものの、患者の診療に使用する薬品や診療材料などの材料費の増などにより、前年度に比べ 1.0%増の 184 億 8,786 万 1,447 円となりました。
- 4 資本的収支は、新病院建設事業に係る収入、支出が増加したことにより、収入が前年度と比べ 220.3%増の 82 億 8,106 万 8,590 円、支出が前年度と比べ 175.1%増の 89 億 3,951 万 7,728 円となりました。
 - (1) 主な建設改良工事としては、新病院事業について、前年度から引き続き、本体工事及び造成工事を実施しました。
 - (2) 医療器械としては、医療業務の向上を図るため、体外衝撃波結石破碎装置や内視鏡部門システムなど 108 品目を 6 億 7,677 万 9,732 円で購入しました。
- 5 平成 30 年 12 月 25 日には「いわき市医療センター」が開院するところであり、今後においても、引き続き医療の質の向上と患者サービスの充実に努めるとともに、病院経営の安定化を目指し、より一層努力して参る考えであります。